

HIGATOKU

研修医募集要項 2022



医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院

メッセージ

Message

ハードトレーニングの継続！ぜひ仲間に加わってくれることを期待します。

来年度に医師を目指しているみなさんが考える「いい研修病院」とはどのようなものでしょうか？将来の目標が明確かつ具体的に決まっている諸君はその道を究めるためにフォーカスした病院を選ぶことがひとつかもしれません。しかしそまだ将来を見据えるところまでいかない人は多いと思いますし、敢えて将来の目標とは違う勉強を2年間行うという選択も素晴らしいことです。きっと一生懸命に「いい研修病院を見つけたい」と悩んでいるかたが多いと思います。

札幌東徳洲会病院は総合的な臨床研修ができる病院ですが、とくに救急診療で多くの症例数を有する病院です。救急医療は太古の昔から「医療の基本」であり、それはいまも全く変わりません。さらに当院は一貫してハードトレーニングの研修を行っている病院です。その理由は医師となって最初の2年間がみなさんの医師人生の基礎を固めるもっとも大事な時期であることを確信しているからです。当院がほかの臨床研修病院と比較して辛くて厳しいかどうかは私たちには比較できません。しかし2年後には皆さんが高いレベルに到達して初期研修を終了できることを目標にしたときに今の臨床研修のかたちが必要である、と考えています。「高ければ高い壁のほうに登ったとき気持ちいいもんな」という歌詞もありましたね。

ホームページや見学などで当院を知っていただき体感したうえで、ぜひ仲間に加わってくれることを期待しています。信頼できる指導医やすべての職種のスタッフがみなさんを熱く指導します。



札幌東徳洲会病院 院長
太田 智之

研修委員長より メッセージ

神野 敦
救急集中治療センター 医長



実り豊かな初期研修を過ごしてみませんか。

札幌東徳洲会病院の初期研修は、圧倒的な症例数と、研修医が自分で考えて自分で行動出来る主体性を特徴とした研修プログラムです。医師として基礎を作り出す2年間で数多くの経験を得て、診療科にとらわれないgeneralマインドを持った自立した医師になって欲しいとの願いが込められています。今年度も全国から集まった20名の初期研修医が北海道No.1の搬送件数を誇る救急研修を軸に、各科指導医のもと充実した研修を行っていますが、2022年度のプログラムでは、より一層の研修環境を目指すため、いくつかのプログラム変更を行いました。

①脳外科研修の必修科：神経領域の研修機会を設けました。common diseaseである脳卒中、てんかんなどを経験することが可能になります。

②IBDセンターの必修科：潰瘍性大腸炎やクロhn病といった炎症性腸疾患 (IBD: Inflammatory Bowel Disease) の診療を行うセンターです。特殊な効能を持つ、免疫抑制剤使用に関して研修を行い、その適応や合併症について経験することを目標にしています。

③救急研修へのナイトフロート導入：医師の働き方改革に適応し、より良い研修を果たすため、当直システムの変更を行います。日々の各科研修と当院の特徴である通年での救急研修が良いバランスでハイブリッドした研修を目指します。

全国から集まる高い志を持った同期、ロールモデルとなる先輩研修医、そして経験豊富な各科指導医に囲まれて、実り豊かな初期研修を過ごしてみませんか。ぜひ皆様の応募をお待ちしています。

指導医より メッセージ

前本 篤男
副院長・IBDセンター長



IBDセンターでは特殊な病態や疾患の管理を習得します。

IBDセンターでは、潰瘍性大腸炎やクロhn病などの炎症性腸疾患の診療を行っています。これらの疾患は消化器内科の知識や手技のみならず、免疫疾患のマネジメントが求められるために全身の内科的管理が求められます。さらに小児から高齢まで年齢が幅広く、また疾患をかかえながら日常の就学・進学・経済的自立・出産など様々なに出会うライフイベントがスムースに行うための支援することから、チーム医療での取り組みを積極的に行ってています。研修ではこれらの特殊な病態や疾患の管理を習得することで、逆によりcommonな病気を理解して診療に取り組める力を磨いていただきたいと考えています。

指導医より メッセージ

佐藤 正夫
脳神経外科部長



神経所見のとり方や画像の読影など基本的処置に習熟。

脳神経外科で扱う疾患としては脳血管障害、頭部外傷、脳腫瘍、てんかん、感染症、脊髄・脊椎疾患の他、末梢神經障害、神経内科疾患等、神経症状を呈する多岐にわたる疾患を扱います。また様々な全身合併症を伴っていることもあります。画像から診断が確定されることが多いですが、病歴、全身状態、神経症状が診断を行う上で重要なことがあります。

当科研修においては、病歴聴取を行い、全身状態の評価、神経所見のとり方、画像の読影、疾患を診断するまでの考え方、代表的疾患の病態、特徴、経過を学びます。統一標準的な治療、保存的治療、外科的治療の適応を学び、様々な検査、手術、術後の管理にも積極的に参加していただきます。

1日のスケジュールですが、平日朝8時30分よりカンファレンスを開始し、その後病棟回診を行います。手術は回診後に行い、手術日以外は病棟管理を行います。水曜日、または木曜日の午後に脳血管撮影等の検査を行います。週1回脳卒中リハビリカンファレンス、抄読会、症例検討会を適宜行います。

神経所見のとり方、画像の読影、診断までのプロセス、CVカテーテル留置等の基本的処置に習熟していただくことを目標とし研修を行っていただきます。

Training program

月曜症例検討会

隔週月曜日のAM7:00より各科の指導医・初期研修医参加による症例検討会を開催しております。内容は1回の検討会で研修医が1~2症例を発表。各指導医に考察・ガイドライン等を加えて検討していただいています。かなりきめ細やかな検討会が望めます。また今後経験する「地方会発表」の練習の場としても有効に活用しております。

モーニングカンファレンス 救急症例検討会

救急症例検討会(AM8:00~AM9:00)。研修医が救急直面で対応した珍しい症例や対応に困った症例などを発表しディスカッションします。月曜日から木曜日、研修の2年間継続して参加します。各科指導医も参加をするので、より確かな研修が望めます。

学会発表と論文作成

当院では2年間の研修期間中に論文作成、学会発表を行います。医師は、科学者の目を持つことが大事であり、研修医の頃からアカデミックな分野へ目を向けることはその後の医師のキャリアを発展させるものであると考え、各科指導医、研修管理委員会がそのサポートを致します。

研修医向けレクチャー

当院では定期的に研修医向けレクチャーを行っております。研修医が身近に遭遇する疾患を中心に、指導医がきめ細かくレクチャー。内容は研修医が中心に考えます。また院外講師を招いても開催しております。



総合診療部ローテート中に総合内科、感染症で著名な岸田直樹先生が毎週月・水曜日に研修指導で来ていただいています。初期臨床研修医のバイブルともいえる『誰も教えてくれなかつた「風邪」の診かた』や『感染症非専門医・薬剤師のための感染症コンサルテーション』等、数多くの書籍を上梓。2020年には新型コロナウイルス感染症の流行により、札幌市危機管理対策室参与（感染症対策担当）として、札幌市の新型コロナウイルス対策に関わっておられます。感染症は最も触れる疾患の一つだと思うのですが、系統だって教育している大学病院や研修病院はまだ少ない状況です。また基本的な考え方から、臨床への応用まで勉強できる事は必ず現場で役に立ちます。特に基本となる「背景」「臓器」「原因菌」「抗菌薬」「経過」のFactorをしっかりと勉強できる環境です。また、月に1回症例をふまえての指導、感染症治療についてのレクチャーも開催しています。



「現場至上主義」で「とにかくやってみる」こと。

私はERでの初療やジェネラルな診療能力を身に付けたくて当院で初期研修を始めました。これから当院を志望する方々におすすめの診療科はやはり救急科と総合診療部です。救急科では圧倒的な救急台数の初療にあたることで初動力を磨き、総合診療部では入院患者の主治医として病棟管理を行うことで内科診療の基礎や感染症診療のロジックを身につけることができます。そんな当院の指導体制は「現場至上主義」で「とにかくやってみる」こと。難しい症例や複雑な病態に出会ってもまずは自分で考え行動し、指導医からのアドバイスをもらいながら前に進むことができます。当院で「頭と体が同時に動く研修医」を目指す皆様をお待ちしています。

2年次
研修医
藤沢 聖哉
徳島大学卒



2年次
研修医
大木 崇久
日本大学卒

診療や症例に対する疑問から私生活の相談までも!

当院の一番の特徴は北海道一の救急搬送台数があり、一年間に多くの救急症例を経験し、二年次研修医になる頃にはcommon diseaseの診療、基本的な手技に関しては自信がつくようになります。当院研修委員長の言葉に「See one, Do one, Teach one. (見て覚えて、やって覚えて、教えて自分の理解をさらに深める)」という教えがあります。やる気、手技の勉強が確実に行えていればどんどんやらせていただける環境がここにはあります。実際に外科の研修中は多くの手術に立ち会うことができました。もう一つの特徴として、当院や徳洲会グループ病院で研修された先生が多く在籍していることです。初期研修医の気持ちを理解してくれているので、診療や症例に対する疑問から私生活の相談までもすることができます。多くの症例を経験したい、充実した研修医生活を送りたい方は、ぜひ一度当院に見学に来られてはいかがでしょうか。お待ちしております。



1年次
研修医
飯沼 実香
旭川医科大学卒

専門研修プログラム

当院は内科、総合診療、救急科で専門研修基幹施設を取得し、各科えりすぐりの連携施設と協力し専攻医の育成に力を入れています。初期から専門を継続して研修できる。

内科専門研修プログラム

当院の内科系診療科は6つの専門内科を開設しており、総合的な診療と専門的診療の両面から診療能力を深めることができます。また基本領域を学びながら、循環器内科・消化器内科のサブスペシャリティ領域を意識した研修も可能です。

連携施設

旭川医科大学病院/旭川赤十字病院/市立旭川病院/旭川厚生病院/名寄市立総合病院/勤医協中央病院/千歳市民病院/遠軽厚生病院/町立中標津病院/札幌徳洲会病院/共愛会病院/帯広徳洲会病院/特別連携施設※利尻島国保中央病院/夕張市立診療所

救急科専門研修プログラム

当院は北海道一の救急搬送台数をほこり、単科病院では難しい複合病態や、軽症から重症までの多くの救急患者を診ることを基本とし、連携施設の三次救急施設、べき地医療施設と協力してER型救急を基礎とした救急科専門医の育成を目指しております。2020年10月に日本集中治療医学会 専門医研修施設の認定を受けたことでさらに専門的な研修が行えます。

連携施設

北海道大学病院/札幌医科大学附属病院/旭川医科大学病院/市立札幌病院/福井大学医学部附属病院/川崎医科大学附属病院/防衛医科大学校病院/国際医療福祉大学成田病院/徳之島徳洲会病院/帯広徳洲会病院

総合診療専門研修プログラム

「あらゆる状況に対応可能」な総合診療医を育成することを目標としています。本プログラムは「離島で一人で診療できる」レベルに近づくことを目指しています。work-lifeバランスも重視しつつ、個々の症例を深く掘り下げ有意義な研修ができるよう指導します。

連携施設

共愛会病院/帯広徳洲会病院/利尻島国保中央病院/栄町ファミリークリニック/夕張市立診療所

専攻医募集

詳しくは当院のホームページをご確認ください▶



2021年度 感染症レクチャード日程(予定)

6/28(月)・7/26(月)・8/30(月)・9/27(月)・10/25(月)
・11/22(月)・12/27(水)・1/24(月)・2/21(月)・3/14(月)
毎回17時開催・1時間30分程度

※ レクチャード日程は事務担当者まで事前にお問い合わせください。
札幌東徳洲会病院 研修管理委員会

[Mail]ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp

[Tel]011-722-1110

岸田先生のプロフィールは
コチラ▶





2年を通して救急部門でのプライマリ・ケア&エマージェンシー・ケアの研修

ローテーション ※ローテーションは順不同

例 1 年次	総合診療 8週	外科 8週	麻酔科 4週	救急科 4週	循環器内科 8週	整形外科 4週	脳神経外科 4週	消化器内科 4週	IBDセンター 4週			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
例 2 年次	小児科 4週	地域医療 8週	精神科 4週	産婦人科 4週	救急科 4週	麻酔科 4週			選択科 4週×5			

選択科目

※下記23科から選択できます

1・2年次必須科目13科

- ・総合診療部
- ・救急科
- ・産婦人科
- ・循環器内科
- ・小児科
- ・精神科
- ・消化器内科
- ・外科
- ・地域医療
- ・IBDセンター
- ・整形外科
- ・脳神経外科
- ・麻酔科

選択科目10科

- ・呼吸器内科
- ・眼科
- ・心臓血管外科
- ・皮膚科
- ・外傷センター
- ・緩和ケア
- ・耳鼻咽喉科
- ・NICU
- ・放射線診断科
- ・病理診断科



初期研修医のコメント

Resident's comment



宮城 左京
琉球大学卒

頼れる2年次との圧倒的な実力の差!自分も来年頼れる先輩に。

私は将来地域医療に関わりたいと思っています。その際にどの科に進んだとしても専門の科以外のことについて幅広い知識を持ち、様々な経験をしてきた医師であればよりその地域の医療に貢献できるのではないかと考えました。その基盤を作るためには北海道の中でも圧倒的な症例数を経験できる当院での研修を希望しました。当院では症例数の多さも特徴の1つですが、その中で研修医が自動的に動く状況に加えその後のフィードバックも充実しています。

2年目や上級医の先生方、そしてコメディカルの方々からのフィードバックに加え、平日の月曜から木曜にはそれぞれの研修医が経験した救急症例に関して発表しレクチャーする場あり、自分が経験した症例に関して知識を増やせると共に、まだ経験していない症例に関して勉強できる環境があります。今まさに何をか知らない中でたくさん失敗をしているのですが、同時にこの恵まれた2年間の研修期間でどれだけ自分が成長できるかとても楽しみでもあります。少しでも興味を持っていただけたらぜひ見学にいらしてください。

北海道の中でも圧倒的な症例数を経験できます。

私は将来地域医療に関わりたいと思っています。その際にどの科に進んだとしても専門の科以外のことについて幅広い知識を持ち、様々な経験をしてきた医師であればよりその地域の医療に貢献できるのではないかと考えました。その基盤を作るためには北海道の中でも圧倒的な症例数を経験できる当院での研修を希望しました。

当院では症例数の多さも特徴の1つですが、その中で研修医が自動的に動く状況に加えその後のフィードバックも充実しています。

2年目や上級医の先生方、そしてコメディカルの方々からのフィードバックに加え、平日の月曜から木曜にはそれぞれの研修医が経験した救急症例に関して発表しレクチャーする場あり、自分が経験した症例に関して知識を増やせると共に、まだ経験していない症例に関して勉強できる環境があります。

今まさに何をか知らない中でたくさん失敗をしているのですが、同時にこの恵まれた2年間の研修期間でどれだけ自分が成長できるかとても楽しみでもあります。

少しでも興味を持っていただけたらぜひ見学にいらしてください。

臨床研修の基本理念

臨床研修は、医師が、医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けることのできるものでなければならない。

到達目標

医師は、病める人の尊厳を守り、医療の提供と公衆衛生の向上に寄与する職業の重大性を深く認識し、医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）及び医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を身に付けなくてはならない。医師としての基盤形成の段階にある研修医は、基本的価値観を自らのものとし、基本的診療業務ができるレベルの資質・能力を修得する。

医師としての基本的価値観 (プロフェッショナリズム)

1. 社会的使命と公衆衛生への寄与

社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、限りある資源や社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。

2. 利他的な態度

患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。

3. 人間性の尊重

個々人の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持つて、患者や家族に接する。

4. 自らを高める姿勢

自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。

基本的診療業務

1. 一般外来診療

頻度の高い症候・病態について、適切な臨床推論プロセスを経て診断・治療を行い、主な慢性疾患については継続診療ができる。

2. 病棟診療

急性期の患者を含む入院患者について、入院診療計画を作成し、患者の一般的・全身的な診療とケアを行い、地域連携に配慮した退院調整ができる。

3. 初期救急対応

緊急性の高い病態を有する患者の状態や緊急救度を速やかに把握・診断し、必要時には応急処置や院内外の専門部門と連携ができる。

4. 地域医療

地域医療の特性及び地域包括ケアの概念と枠組みを理解し、医療・介護・保健・福祉に関わる種々の施設や組織と連携できる。

病院見学 1日のスケジュール

隔週月曜日

朝 7:00～ 月曜症例検討会

毎週月曜日

朝 7:30～ 抄読会

月曜～金曜日

朝 8:00～ 救急症例検討会

*金曜日はエコー・心電図勉強会

月曜～金曜日

朝 8:00～17:00

希望診療・おすすめ科を実際にローテート
している研修医業務を見学

月曜～金曜日

17:00～ 当直業務も見学できます



初期臨床研修医募集要項

■選考方法

面接・小論文・筆記試験

■必要書類

- 臨床研修志願願書(当院所定書式)
- 卒業見込み証明書1通(既卒者は証明書)
- 健康診断書1通

当院所定書式はホームページまたは右記QRコードからダウンロードできます。

https://www.higashi-tokushukai.or.jp/resident/recruit_j.html



■募集人数

11名

■選考日

- 令和3年7月24日(土) 9:00~
- 令和3年8月 7日(土) 9:00~
- 令和3年9月 4日(土) 9:00~

*上記日程で受験できない方はご相談ください。

■出願書類提出先

〒065-0033 札幌市東区北33条東14丁目3-1

医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院

研修管理委員会

Tel 011-722-1110 / Fax 011-722-0378



出願書類は担当係まで、持参または郵送してください。

願書は各選考日の1週間前までに必着。

病院見学

対象者 医学部生4・5・6年生

スケジュール ・2~5日間コース・1日だけの日帰りコース
・当直だけの1泊コース

当院ホームページ 医学部実習フォームからのお申し込みが簡単! ▶



オンライン【個別】説明会・相談会

参加申し込み
QRコード▼



オンライン個別説明会・説明会をご希望の日程に合わせ開催致します。初期研修について担当者(指導医、事務担当)が、なんでも(研修プログラム、マッチング、見学について等)お答えいたします。

詳しくは当院のホームページをご確認ください。

▶ 名称 医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院

▶ 所在地 〒065-0033
札幌市東区北33条東14丁目3番1号
TEL.(011)722-1110
FAX.(011)722-0378

▶ 開設 昭和61年2月

▶ 管理者 院長 太田 智之



診療科目

内科／総合診療部／循環器内科／消化器センター(消化器内科)／炎症性腸疾患センター(IBDセンター)／呼吸器内科／小児科／外科／消化器外科／乳腺外科／肛門外科／脳神経外科／心臓血管外科／放射線診断科(画像・IVRセンター)／放射線治療科／麻酔科／歯科口腔外科／病理診断科／眼科／形成外科／リハビリテーション科／救急集中治療センター／皮膚科／耳鼻咽喉科／頭頸部外科／整形外科／泌尿器科／外傷センター

▶ 病床数 許可病床数 325床

認定について

国際医療施設認証[JCI認定]
卒後臨床研修評価機構[JCEP]

待遇

1.身分 常勤医師 / 2.住居 宿舎有、家賃補助有
3.休暇 有給休暇 有り

給与(予定)

1年次 月額 540,000円(基本給+時間外+当直手当)※概算
賞与 440,000円
2年次 月額 620,000円(基本給+時間外+当直手当)※概算
賞与 760,000円

※税込、手当含む

当直はシフト作成者が冠婚葬祭や学会発表等に参加できるよう
に事前に当直不可日を確認し1か月ごとに作成します。)

5.保険 徳洲会健康保険組合、厚生年金、雇用保険

6.その他 学会参加費用についての補助規定あり

＜お問合せ先＞ 医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院 研修管理委員会

札幌市東区北33条東14丁目3番1号 TEL. (011)722-1110 / FAX. (011)722-0378

MAIL. ishi_kenshu@higashi-tokushukai.or.jp